

退職届書

組合員期間等証明書

記入例

上記届出及び以下の該当項目にレ点を付けてご記入ください。

●組合員であった者の基本事項(必須項目)

組合員証記号番号	333 - 1234	所属所名	〇〇〇市
氏名	共済 太郎	生年月日	平成△△年 〇月 〇日
退職事由 (該当番号を記入)	10	1.定年 2.普通 3.勸奨等 4.任期満了(定年前再任用・特別職・会計年度任用職員等) 5.死亡 6.分限免職 7.懲戒免職 8.整理退職(地方公務員法第28条1項4号の規定) 9.当組合内所属に転出 10.他組合へ転出	

※退職事由の該当番号が、1、2、3、4、6、7及び8の場合は、以下の●退職届事項と●組合員期間等証明事項のいずれも記入してください。
退職事由の該当番号が、5、9及び10の場合は、以下の●組合員期間等証明事項のみ記入してください。

●退職届事項

退職当時の所属機関名		退職年月日	年 月 日
上記のとおり退職をしましたので届出ます。 群馬県市町村職員共済組合理事長 様			
年 月 日	住所		
届出者	氏名		

●組合員期間等証明事項

1 組合員期間等に関する事項

組合員期間	資格取得年月日	資格喪失年月日(退職日の翌日)	消防吏員の期間の有無
	平成△△年 4月 1日	令和△△年 4月 1日	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

※消防吏員の期間がある場合は、組合員であった間の全ての消防吏員の階級及び期間を記入してください。

消防吏員の階級	消防吏員の期間			
消防士	平成△△年	4月	1日	～ 平成△△年 3月 31日
消防副士長	平成△△年	4月	1日	～ 平成△△年 3月 31日
消防士長	平成△△年	4月	1日	～ 令和△△年 3月 31日
				日
				日
				日

消防吏員の階級：消防士、消防副士長、消防士長、消防司令補、消防司令、消防司令長、消防監、消防正監

2 給付制限(懲戒処分等)に関する事項

懲戒処分等の有無(右のいずれかの項目に☑をしてください。)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
-------------------------------	--

※懲戒処分等が「有」の場合は、次の処分内容及び期間等を記入してください。

懲戒処分 (減給、戒告を除く)	処分の内容	処分を受けた期間(発令どおりに記入してください。)			
	停職	平成△△年	5月	5日	～ 平成△△年 11月 4日
	免職	年	月	日	
上記処分期間のうち、法第113条に規定する労働組合の専従職員の期間		年	月	日	～ 年 月 日
禁錮刑以上 (把握している場合に記入)	刑の確定日	年	月	日	執行猶予満了日
		年	月	日	年 月 日
国家公務員共済組合法第97条に規定する退職手当支給制限等処分に相当する処分		退職手当算定基礎期間			
		年	月	日	年 月 日

◆所属機関の長の確認欄(公印不要)

上記の記載事項に誤りがないことを確認しました。

令和△△年 4月 1日 所属所名 〇〇〇市
所属機関の長 職名・氏名 市長 〇〇〇〇

共済組合
受付印